



観音信仰と巡礼の美術



東海学園大学・名古屋市天白生涯学習センターによる共催

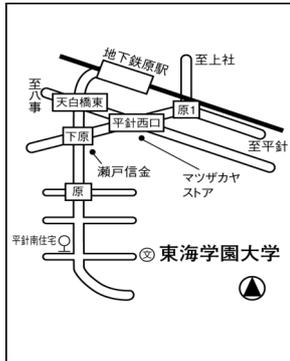
観音は、苦難に遭っている人々を救済してくれるという菩薩で、おそらく仏教の尊像の中で最も私たちに身近な存在でしょう。この講座では、観音の信仰内容と優れた美術を紹介し、あわせて西国霊場巡りについても触れます。

- 開設期間 11月14日(金)～28日(金)
- 時間 午後2:40～4:10
- 対象・定員 一般・30人
- 受講料 無料(事前申込必要)
- 会場 東海学園大学 名古屋キャンパス
名古屋市天白区中平2-901

<会場への交通機関>

- ・地下鉄鶴舞線「原」駅下車
- ・原駅バスターミナルより発車する市バスすべてに乗車可
→「平針南住宅」下車、東へ徒歩3分

※駐車場は用意できませんので、公共交通機関をご利用ください。



| 回 | 月日 | 学習プログラムおよび講師 |
|---|-----------|--|
| 1 | 11月14日(金) | 観音信仰と美術 東海学園大学人文学部准教授 渡邊里志 |
| 2 | 11月21日(金) | 観音像の名作 愛知大学非常勤講師 見田隆鑑 東海学園大学人文学部准教授 渡邊里志 |
| 3 | 11月28日(金) | 名古屋市博物館 見学 東海学園大学人文学部准教授 渡邊里志 |

※第3回目は、現地集合・現地解散です。終了時刻は、午後4時30分ごろの予定です



裏面の各回のあらましをご覧ください



- 受講資格 市内にお住まいか、お勤め、ご通学の方。「一般」とは、15歳以上(中学生を除く)の方です。
- 申込方法 【往復はがき・センターの窓口・インターネットの電子申請】 (下記の要領参照)

| | |
|-------------------|-----------|
| 返信(表面) | 往信(裏面) |
| □ □ □ □ - □ □ □ □ | |
| 返信 あなたの氏名 | あなたの住所 |
| | ①講座名 |
| | ②氏名(フリガナ) |
| | ③年代 |
| | ④〒・住所 |
| | ⑤電話番号 |
| | ⑥※ |

※市外にお住まいの方は、勤務先または通学先の住所地の区名を⑥に記入してください。

| | |
|----------------|---------------|
| 往信(表面) | 返信(裏面) |
| □ 468-0027 | |
| 往信 天白生涯学習センター行 | 何も記入しないでください。 |
| 字天白 | |
| 黒石区 | |
| 四天 | |
| ○白町 | |
| ○五町 | |
| ○大番 | |
| ○大字 | |
| 島田 | |

☆往復はがきでの申込

- (1) 応募は、一人1通のみ有効とします。
- (2) 往復はがきに左記の内容を記入して、天白生涯学習センターまで お送りください。
- (3) 9月25日(木)必着。定員を超えた場合は抽選を行います。
- (4) 結果は、9月26日以降に返送いたします。当選された方は、返信はがきでお知らせする期日までに、受講手続きを行っていただきます。
- (5) 定員に満たなかった場合は、9月25日以降、天白生涯学習センター窓口で受付を行います。

☆天白生涯学習センター窓口での申込

- ・ 返信はがきをご持参ください。天白生涯学習センター窓口にて所定の申込用紙に必要事項をご記入いただきます。

☆インターネットでの申込

- ・ 下記のURLまたは名古屋市のホームページから電子申請を行ってください。
【コンピュータ】 <https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/>
【携帯電話】 <https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/m/>

<申し込み・お問い合わせ先> 天白生涯学習センター

〒468-0027 天白区天白町大字島田字黒石4050 TEL802-1161/FAX802-1161

東海学園大学公開講座のご案内



観音信仰と巡礼の美術



東海学園大学・名古屋市天白生涯学習センターによる共催

観音は、苦難に遭っている人々を救済してくれるという菩薩で、おそらく仏教の尊像の中で最も私たちに身近な存在でしょう。この講座では、観音の信仰内容と優れた美術を紹介し、あわせて西国霊場巡りについても触れます。

- 開設期間 11月14日(金)～28日(金)
- 時間 午後2:40～4:10
- 対象・定員 一般・30人
- 受講料 無料
- 会場 東海学園大学 名古屋キャンパス 131教室

| 回 | 月日 | 学習プログラムおよび講師 | 各回の概要 |
|---|----------------|--|--|
| 1 | 11 / 14 (金) | 《観音信仰と美術》 東海学園大学人文学部准教授 渡邊里志 | 観音(かんのん)についての入門的な話しをします。まずは、観音という言葉の意味や信仰内容、観音信仰の発生と歴史などについて、わかりやすく説明します。 観音は、災難や苦悩にあっている人々を、慈悲の心で救済するという、我々にとっては最も有り難い存在であったので、インドから日本までアジア全般で信仰されてきました。日本では、巡礼と結びついて一般庶民に篤く信仰されるようになり、彫刻や絵画に表されて礼拝されてきました。日本を中心とした観音信仰の歴史と美術をみます。 |
| 2 | 11 / 21 (金) | 《観音像の名作》 愛知大学非常勤講師 見田隆鑑 東海学園大学人文学部准教授 渡邊里志 | 観音の美術の代表作を、彫刻中心に紹介します。観音は、人間的な普通の菩薩の姿をした聖観音(しょうかんのん)から、インドのヒンドゥー教の影響を受けて、顔や眼や手の数が増えた多面多臂(ためんたひ)の姿をとる変化観音(へんげかんのん)が生まれます。変化観音には、十一面観音や千手観音などがあり、救済の力が強調されましたので、よりいっそう観音信仰が盛んになります。観音信仰が盛んになると、観音の姿を彫刻や絵画に表して、礼拝されるようになります。西国三十三所霊場の寺院の本尊を中心として、美術的に優れた観音像を見ていきます。 |
| 3 | 11 / 28 (金) | 《名古屋市博物館 見学》 東海学園大学人文学部准教授 渡邊里志 | 巡礼とは、神社や寺院などを訪ね歩いて参拝することをいいます。弘法大師ゆかりの寺院を巡り参拝する四国八十八箇所巡礼(お遍路)がよく知られていますが、観音を本尊とする観音霊場を巡り参拝する西国三十三所の歴史は古く、花山法皇(968～1008)の中興により広がったものとされています。 この特別展は、今年が花山法皇一千年ご遠忌の年であることを記念として奈良国立博物館で開かれたあと、名古屋だけで開催されるものです。学芸員の展示解説を聞いたあとで、ゆっくりと展示を鑑賞して観音信仰と巡礼の美術に親しく触れます。 |

※第3回目は、現地集合・現地解散です。終了時刻は、午後4時30分ごろの予定です



共催/天白生涯学習センター

〒468-0027 天白区天白町大字島田字黒石4050

TEL802-1161/FAX802-1161

